



論理接続図

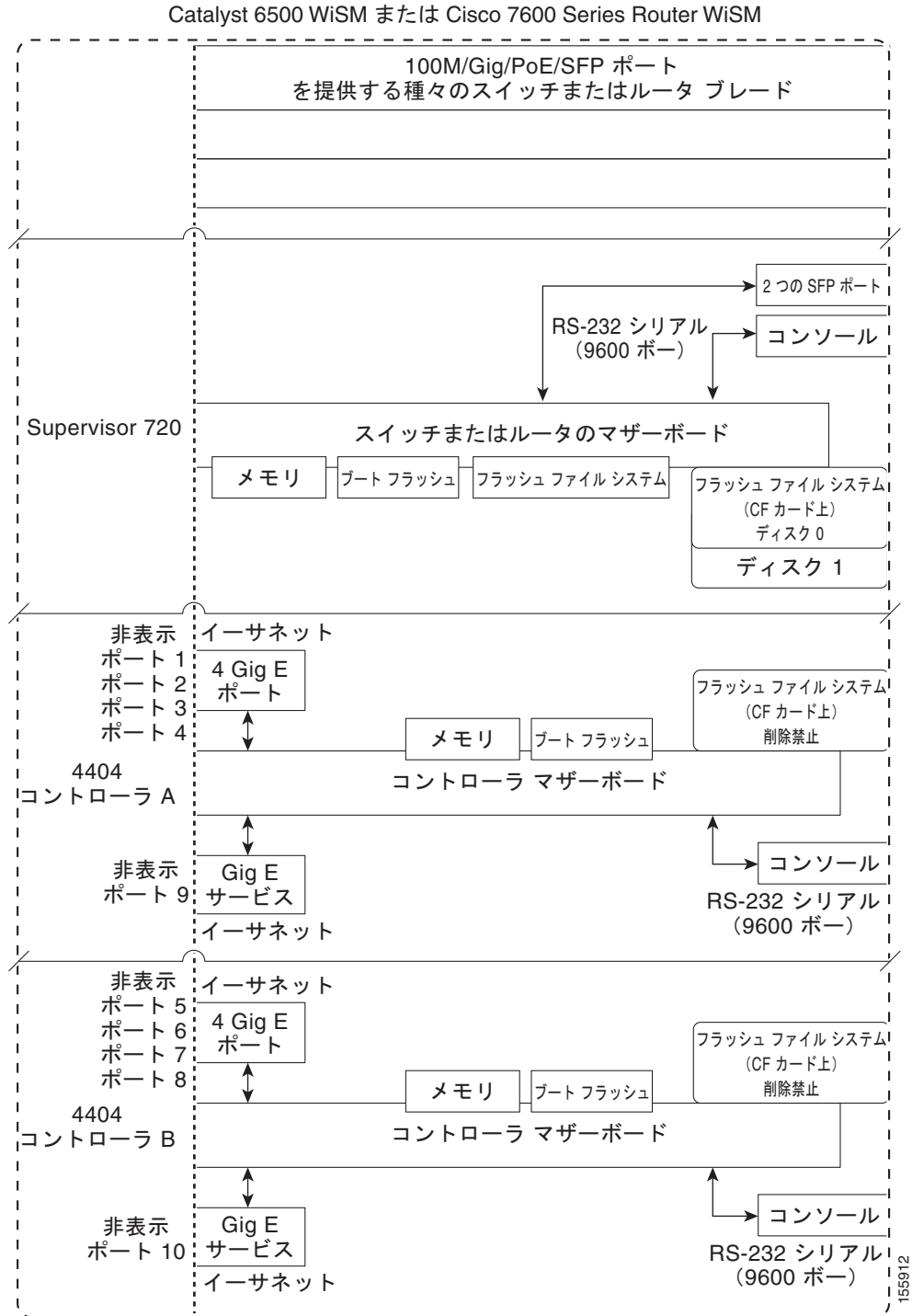
この付録には、統合コントローラの論理接続図および関連するソフトウェア コマンドが記載されています。この章の内容は、次のとおりです。

- [「Cisco WiSM」 \(P.E-2\)](#)
- [「Cisco 28/37/38xx サービス統合型ルータ」 \(P.E-3\)](#)
- [「Catalyst 3750G 統合型無線 LAN コントローラ スイッチ」 \(P.E-4\)](#)

この項には、他のシスコ製品に統合されたコントローラ、特に、Catalyst 3750G 統合型無線 LAN コントローラ スイッチ、Cisco WiSM、および Cisco 28/37/38xx シリーズ サービス統合型ルータの論理接続図が記載されています。これらの図は、スイッチまたはルータ、およびコントローラとの間の内部接続を示しています。また、デバイス間の通信に使用されるソフトウェア コマンドも記載されています。

Cisco WiSM

図 E-1 Cisco WiSM の論理接続図

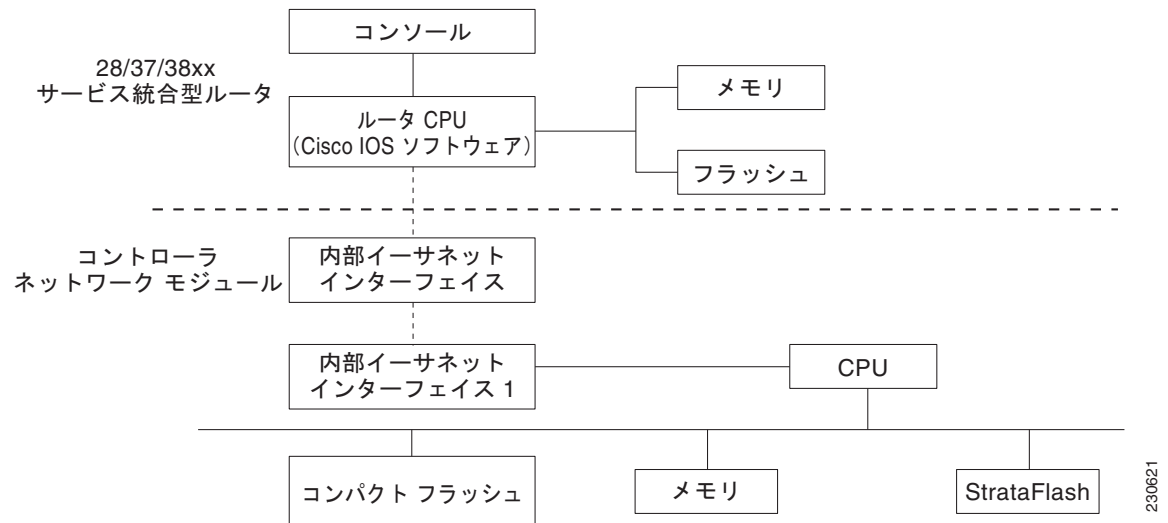


Cisco WiSM、Supervisor 720、および 4404 コントローラ間の通信で使用されるコマンドについては、次の URL からアクセスできる『*Configuring a Cisco Wireless Services Module and Wireless Control System*』を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/wireless/technology/wism/technical/reference/appnote.html#wp39498>

Cisco 28/37/38xx サービス統合型ルータ

図 E-2 Cisco 28/37/38xx サービス統合型ルータの論理接続図



次のコマンドは、28/37/38xx サービス統合型ルータおよびコントローラ ネットワーク モジュール間の通信で使用されます。これらは、ルータから起動されます。このコマンドは、ネットワーク モジュールのバージョンによって異なります。

次のコマンドは、ルータおよびファスト イーサネット バージョンのコントローラ ネットワーク モジュール間の通信で使用されます。

- **interface wlan-controller slot/unit** (サブインターフェイスをサポートする場合は、**dot1q encaps** を追加)
- **show interfaces wlan-controller slot/unit**
- **show controllers wlan-controller slot/unit**
- **test service-module wlan-controller slot/unit**
- **test HW-module wlan-controller slot/unit reset {enable | disable}**
- **service-module wlan-controller slot/port {reload | reset | session [clear] | shutdown | status}**

次のコマンドは、ルータおよびギガビット イーサネット バージョンのコントローラ ネットワーク モジュール間の通信で使用されます。

- **interface integrated-service-engine slot/unit** (サブインターフェイスをサポートする場合は、**dot1q encaps** を追加)
- **show interfaces integrated-service-engine slot/unit**
- **show controllers integrated-service-engine slot/unit**
- **test service-module integrated-service-engine slot/unit**

- `test HW-module integrated-service-engine slot/unit reset {enable | disable}`
- `service-module integrated-service engine slot/port {reload | reset | session [clear] | shutdown | status}`

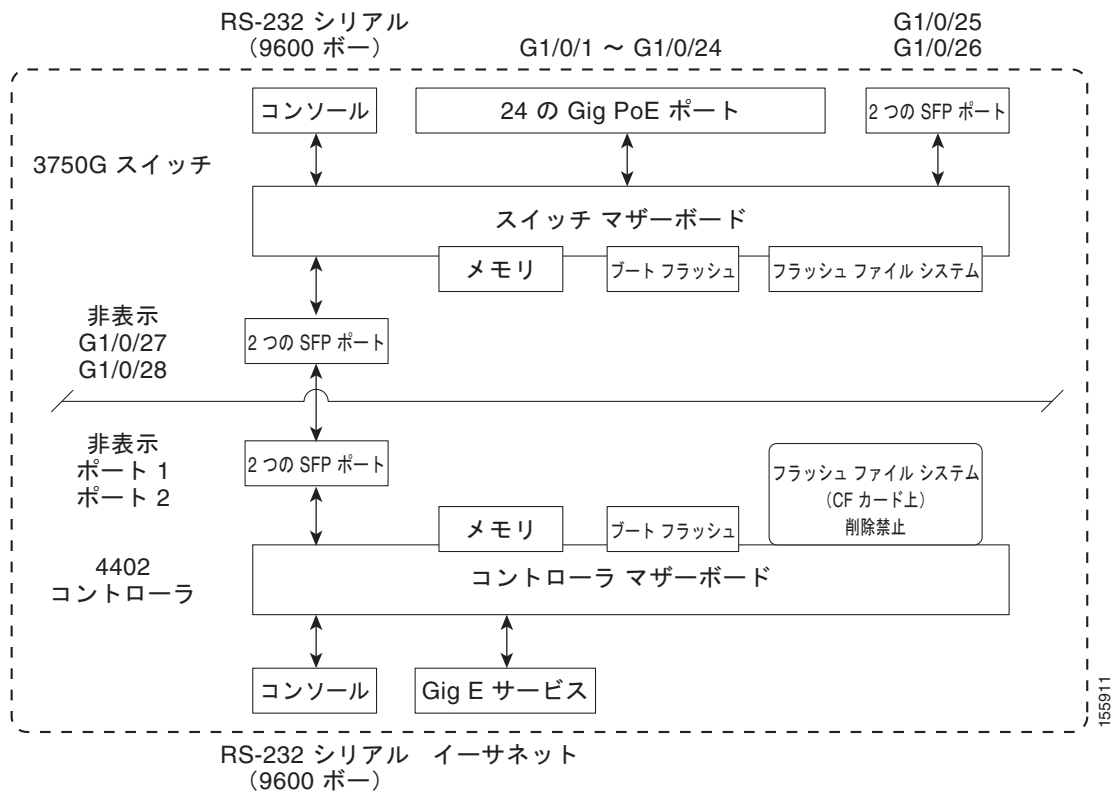


(注)

詳細は、『Cisco Wireless LAN Controller Network Module Feature Guide』を参照してください。このドキュメントには、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124newft/124limit/124x/124xa2/boxerm.htm#wp2033271>

Catalyst 3750G 統合型無線 LAN コントローラ スイッチ

図 E-3 Catalyst 3750G 統合型無線 LAN コントローラ スイッチの論理接続図



次のコマンドは、Catalyst 3750G スイッチと 4402 コントローラ間の通信で使用されます。

ログイン コマンド

次のコマンドは、スイッチからコントローラへの Telnet セッションを開始するために使用します。

`session switch_number processor 1`

スタック内には複数のスイッチが存在することがあるため、`switch_number` パラメータを使用して、このセッションのスタック内のコントローラにダイレクトされるスイッチを示します。セッションが確立されたら、コントローラの CLI と対話します。`exit` を入力すると、セッションが終了し、スイッチの CLI に戻ります。

表示コマンド

次のコマンドは、内部コントローラの状態を表示するために使用します。これらは、スイッチから起動されます。

- **show platform wireless-controller switch_number summary**

次のような情報が表示されます。

```
Switch  Status  State
1       up      operational
2       up      operational
```

- **show platform wireless-controller switch_number status**

次のような情報が表示されます。

```
Switch  Service IP      Management IP  SW Version      Status
-----+-----+-----+-----+-----
1       127.0.1.1      70.1.30.1    4.0.52.0        operational
2       127.0.1.2      70.1.31.1    4.0.45.0        operational
```

- **show platform wireless-controller switch_number management-info**

```
sw vlan ip                gateway          http https mac          version
1  0   70.1.30.1/16          70.1.1.1        1    1    0016.9dca.d963  4.0.52.0
2  0   70.1.31.1/16          70.1.1.1        0    1    0016.9dca.dba3  4.0.45.0
```

デバッグ コマンド

Wireless Control Protocol (WCP) は、スイッチとコントローラの間で実行される内部キープアライブ プロトコルです。このプロトコルにより、スイッチは、コントローラの状態を管理できます。このプロトコルは、UDP を使用し、2 つの内部ギガビット ポート上で実行されますが、内部 VLAN 4095 を作成してコントロールトラフィックをデータトラフィックから区別します。20 秒ごとに、スイッチは、キープアライブメッセージをコントローラに送信します。コントローラが 16 回の連続したキープアライブメッセージに回答しなかった場合、スイッチは、コントローラがアクティブではないことを宣言し、リセット信号を送信してコントローラをリポートします。

次のコマンドは、内部コントローラの状態を監視するために使用します。

このコマンドは、コントローラから起動されます。

- **debug wcp ?**

ここでは、次のいずれかを示します。

packet : WCP パケットをデバッグします。

events : WCP イベントをデバッグします。

次のような情報が表示されます。

```
Tue Feb  7 23:30:31 2006: Received WCP_MSG_TYPE_REQUEST
Tue Feb  7 23:30:31 2006: Received WCP_MSG_TYPE_REQUEST,of type WCP_TLV_KEEP_ALIVE
Tue Feb  7 23:30:31 2006: Sent WCP_MSG_TYPE_RESPONSE,of type WCP_TLV_KEEP_ALIVE
Tue Feb  7 23:30:51 2006: Received WCP_MSG_TYPE_REQUEST
Tue Feb  7 23:30:51 2006: Received WCP_MSG_TYPE_REQUEST,of type WCP_TLV_KEEP_ALIVE
Tue Feb  7 23:30:51 2006: Sent WCP_MSG_TYPE_RESPONSE,of type WCP_TLV_KEEP_ALIVE
Tue Feb  7 23:31:11 2006: Received WCP_MSG_TYPE_REQUEST
Tue Feb  7 23:31:11 2006: Received WCP_MSG_TYPE_REQUEST,of type WCP_TLV_KEEP_ALIVE
Tue Feb  7 23:31:11 2006: Sent WCP_MSG_TYPE_RESPONSE,of type WCP_TLV_KEEP_ALIVE
```

このコマンドは、スイッチから起動されます。

- **debug platform wireless-controller switch_number ?**

ここでは、次のいずれかを示します。

all : すべて
errors : エラー
packets : WCP パケット
sm : ステート マシン
wcp : WCP プロトコル

リセットコマンド

次の 2 つのコマンドは、スイッチからコントローラをリセットするために使用します（示されている順序で使用します）。これらのコマンドは、現時点ではまだ使用できませんが、今後のリリースでサポートされる予定です。

- **test wireless-controller stop *switch_number***
- **test wireless-controller start *switch_number***



(注)

コントローラへの直接コンソール接続は、PC でハードウェア フロー制御が有効になっている場合は動作しません。ただし、スイッチのコンソール ポートは、ハードウェア フロー制御が有効になっている状態でも動作します。
